

2008年4月16日

## 博報堂、第11回アジア太平洋広告祭にて 優秀賞1つと、金賞2つを受賞

- INNOVA LOTUS(1作品)、金賞(2作品)、銀賞(1作品)、銅賞(2作品) -

アジアの広告祭としては最大規模を誇り今年で11回目を迎えるアジア太平洋広告祭(アド・フェスト2008)にて、博報堂ケトルが担当したソニーマーケティング株式会社のBRAVIA「Color Tokyo!」がINNOVA部門\*1の優秀賞(LOTUS)、サイバー部門の金・銀賞、アウトドア部門の銀賞を受賞し、博報堂が担当した株式会社東ハトの暴君ハバネロ「暴大入試」がサイバー部門で金賞を受賞いたしましたのでご報告します。

「Color Tokyo!」は、そのカテゴリーに限定されない革新性(INNOVA部門)が評価され、「暴君入試」はWebクイズ企画と高いゲーム性が評価されての受賞となりました。

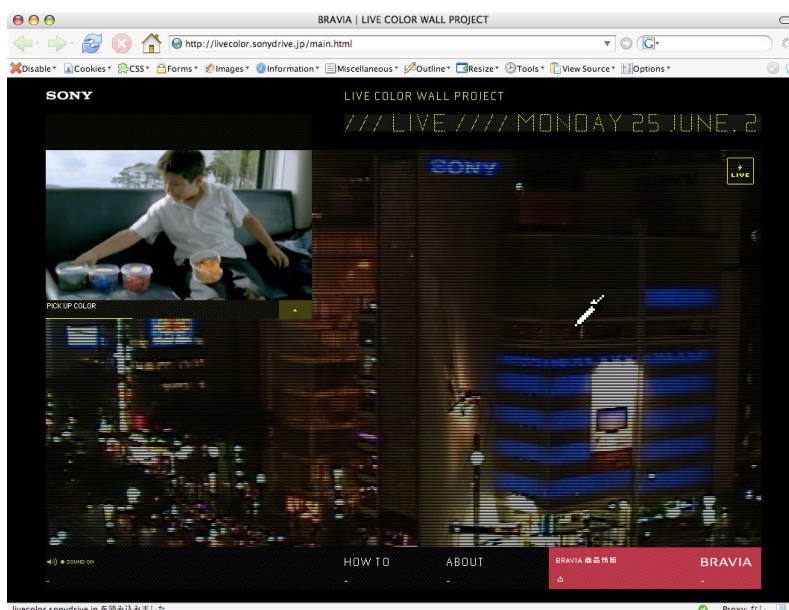
その他博報堂担当のサントリー株式会社の胡麻麦茶「ファイアーマン」がテレビ部門で、博報堂/博報堂DYメディアパートナーズの自社リクルートサイト「ugokasu.com」がサイバー部門で共に銅賞を受賞いたしました。

\*1 INNOVA部門…真の創造性を持って顕著な話題を呼び、市場の大きなインパクトをもたらした画期的なコンセプトを顕彰するために設立された部門

### ◇Innova部門Innova Lotus / サイバー部門(ウェブサイトコンシューマー)金賞 / アウトドア部門、サイバー部門(インテグレートッドサイバーキャンペーン)銀賞 /

**<クライアント>ソニーマーケティング株式会社 <商品名>BRAVIA**

**<受賞作品名>Color Tokyo!**





Web サイト上に流れるCMや映画の動画から、好きな色をスポットで吸い取って画面上にライブ中継されたソニービルに落とすと、実際の銀座のソニービルの壁面の色が変わる。サイバーワールドとリアルワールドを連動させたインタラクティブ企画です。ソニービルには1600万以上の色を表示できるLEDが組み込まれており、未知の色との出会いや、東京の街の色を好きな色に塗るよろこびを世界中の人に提供しました。これによって、「Color is Magic」というBRAVIAのキャンペーンテーマを体験していただくことを目的としています。

#### <制作スタッフ>

クリエイティブディレクター	: 木村健太郎 (博報堂ケトル) / 益田準也 (777インタラクティブ) / 藤井久 (博報堂)
プランナー	: 橋田和明 (博報堂ケトル) / 太田郁子 (博報堂)
アートディレクター	: 田中良治 (セミトランスペアレントデザイン) / 船木研 (博報堂ケトル)
テクニカルディレクター	: 菅井俊之 (セミトランスペアレントデザイン)
エージェンシー・プロデューサー	: 森川俊 (博報堂ケトル) / 坂本充利 / 太田泰造 (博報堂)
デザイナー	: 二村弘志郎 (t h a) / 望月圭介 (サラダ)
コピーライター	: 原田朋 (博報堂)
IMCプランナー	: 高橋拓也 (ソニーマーケティング)
コーディネーター	: 徳山光 / 山口真吾 / 小鷲充 (TOW)
テクニカルサポート	: 森慎吾 / 高野進也 (フィールデザイン)
システムマネージャー	: 鈴木啓央 (カヤック)
制作会社	: 777インタラクティブ+セミトランスペアレントデザイン + t h a + TOW + フィールデザイン + カヤック + サラッド

◇サイバー部門（ゲーム）金賞

＜クライアント＞東ハト株式会社　＜商品名＞暴君ハバネロ　＜受賞作品名＞ 暴大入試



Web 上で開催された架空の大学「暴君ハバネロ大学」に入学するための入学試験サイト。出題される問題は、史上類を見ない難問・奇問・拷問の数々で「問1. 牛 5000 頭、馬 5000 頭。合わせて何頭？ 答えの数だけクリックせよ」など理不尽な難題のオンパレードです。激辛トウガラシを使った「暴君ハバネロ」らしく、世界一の激辛試験となっています。問題の理不尽さだけでなく、問題の面白さ、ゲーム性の高さ、裏口入学の存在、全国ランキング、現役浪人表示、暴大校歌（オリジナル制作）、攻略法（裏技）の存在などロコミになりそうな要素を可能な限り徹底的に盛り込みました。

＜制作スタッフ＞

エグゼクティブクリエイティブディレクター	：北風勝（博報堂）
クリエイティブディレクター	：鈴木克彦（博報堂）
アートディレクター	：鈴木克彦（博報堂）
コピーライター	：斉藤賢司（ホンシツ）・坪井卓（博報堂）
デザイナー	：門脇亮（モクバ）・柿崎祐生（博報堂）
テクニカルディレクター・アニメーター	：辻恭平（クロッシング）
ゲームデザイナー	：辻恭平・中野美緒（クロッシング）
プログラマー	：石橋由悠（タスクラボ）
エージェンシー・プロデューサー	：和光良倫（博報堂）・薩摩純平（博報堂）
プロデューサー（映像コンテンツ）	：真貝進（博報堂プロダクツ）
ディレクター（映像コンテンツ）	：笹谷卓也（博報堂プロダクツ）
音楽	：吉田武史（Q）・田中ユウスケ（Q）
制作会社	：博報堂・クロッシング・タスクラボ・博報堂プロダクツ・モクバ

#### ◇その他の受賞作品

- ・ テレビ部門銅賞

サントリー株式会社 胡麻麦茶「ファイアーマン」

- ・ サイバー部門銅賞

博報堂／博報堂D Yメディアパートナーズ 自社リクルートサイト「ugokasu.com」

#### ◆アジア太平洋広告祭について

今年で11回目を迎えたアド・フェスト2008は、別称アジアのカンヌとも呼ばれ、世界でも権威のある広告祭のひとつとされています。今年度はブランド・デザインやパッケージデザインを評価する「デザイン部門」、若いディレクターの才能を評価する「ニューディレクター部門」が新設され、また昨年設けられた「Contagious部門」が「INNOVA部門」と名前を変え、合計13カテゴリーで審査が行われました。総エントリーは5,148作品で、アジア太平洋地域の33都市から応募がありました。

#### <本件に関するお問い合わせ>

博報堂 広報室

大野・西尾

tel 03-5446-6161

fax 03-5446-6166